

昭和三十七年六月二十五日招集(第一号)

第二回市議会定例会々議録



昭和三七年度館山市議会第二回定例会之議録(第三号)

昭和三七年六月招集

一六月二十五日(月曜日)

一現在議員三三名でその氏名次の通り、

|     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 一番  | 山本 昇  | 二番  | 石井 孝  |
| 三番  | 三沢 節  | 四番  | 小林寅之助 |
| 五番  | 江田徳太郎 | 六番  | 鈴木彦太郎 |
| 九番  | 吉田勇治郎 | 一〇番 | 佐野 信  |
| 一二番 | 鳩貫壮作  | 一三番 | 安沢徳順  |
| 一四番 | 法木嗣郎  | 一五番 | 鳩田 繁  |
| 一六番 | 遠山ヨネ子 | 一七番 | 志村信作  |
| 一八番 | 安西政治  | 一九番 | 田中忠藏  |
| 二〇番 | 北山茂雄  | 二一番 | 後藤ゆき  |
| 二二番 | 田中緑郎  | 二三番 | 吉田辰雄  |

二四番 飯田義男 二五番 脇田順一

二六番 若崎靜敬 二七番 鈴木市藏

二八番 加藤良太郎 二九番 荻生田七郎

三〇番 長谷川光江 三一番 田村喜久衛

三二番 鈴木 孝 三三番 山口幸三

三四番 松本藤太郎 三五番 黒川佐太郎

三六番 山口 康

一 議事日程(第一号)

報告第四号 昭和三六年度館山市消防庁舎建設事業継続費繰越計算書報告

第一 報告第五号 昭和三六年度館山市一原処理施設建設事業継続費繰越計算書報告

報告第六号 昭和三七年四月例月検査報告

報告第七号 昭和三七年五月例月検査報告

報告第七号 昭和三七年五月例月検査報告

報告第七号 昭和三七年五月例月検査報告



第二報告第八号

昭和三七一年六月例月検査報告

(報告第九号

監査報告(公益質屋)

第三 陳情書

第四

議案第二四号

館山高等学校用地の購入について

(議案第二五号

土地の買収について

第五 議案第二六号

土木工事用ダンプカーの購入について

第六 議案第二七号

館山市一尿処理施設敷地造成工事請負契約  
の締結について

第七 議案第二八号

昭和三七年六月に支給する期末手当の特例に  
関する条例の制定について

第八 議案第二九号

館山市消防団員等公務災害補償条例  
の一部を改正する条例

第九 議案第三〇号

館山市市税条例の一部を改正する条例の制  
定について

第十議案第三二号

館山市農業近代化資金利子補給条例の  
制定について

第十一議案第三三号

千葉市外百市町村の軽自動車税の賦課  
徴収に關する事務を行なう取買の共同  
設置規約の一部を改正する規約の制定  
について

第十二議案第三三号

千葉県国民健康保険診療報酬支払予託  
金の予託について

第十三

議案第三四号

議案第三五号

昭和三七年度館山市歳入歳出追加更正予算  
昭和三七年度館山市特別会計国民健康保  
険歳入歳出追加予算

議案第三六号

議案第三七号

館山市ユース・ホステル条例の制定について  
特別会計ユース・ホステル歳入歳出予算を設  
けることについて

第十四

議案第三八号

昭和三七年度館山市特別会計館山ユース

ホステル歳入歳出予算

一、法第二百二十一条による出席説明員

|        |       |
|--------|-------|
| 市長     | 田村利男  |
| 助役     | 小出武男  |
| 収入役    | 完戸貴   |
| 総務課長   | 山口実   |
| 秘書課長   | 山谷潤起  |
| 税務第一課長 | 高木哲三  |
| 税務第二課長 | 多田俊一  |
| 保険課長   | 神作啓次郎 |
| 農産統計課長 | 吉田耕一  |
| 厚生課長   | 伊藤幸太郎 |
| 市民課長   | 利田正男  |

建設課長 新井重助

商工水産課長 羽山房雄

福祉事務所長 長谷川広治

逓信書記長 大嶋重義

企画室長 谷貝茂生

消防署長 安藤竜吉

教育長 工藤和平

庶務課長 鶴沢貫寛

監査委員 川上栄

一本議会の事務局長書記及び取員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

同 兵藤恭一

監 更 山口晴之

一出席議員三二名

一欠席議員一名

三一番 田村喜兵衛

午前十時開会



議長(嶋貫壮作君) 本日の出席議員数 三一名。

これより第二回市議会定例会を開会いたします。

本定例会の議案説明のため田村市長、小出助役、完  
戸収入役、山口課長、羽山課長、新井課長、利田課  
長、多田課長、吉田課長、神作課長、高木課長、伊藤  
課長、長谷川所長、大嶋書記長、安藤署長、谷貝室長  
工藤教育長、鶴沢課長、川上監査委員、以上の出席  
を求めましたので、報告いたします。

会期の決定を行います。本定例会の会期につきま  
たは、議会運営協議会の意見は、本日と明日の二日間とい  
うことであります。

おわかりいたします。会期を二日間と定めますこと  
に、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壯作君)「中異議なし」と認めます。よつて

会期は二日と決定されました。

会議録署名員を指名いたします。本定例会の署名員に二八番議員加藤良太郎君、三〇番議員長谷川光江君、以上兩君を指名いたします。

これに中異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壯作君)「中異議なし」と認めます。よつて決しました。

この際、中報告申し上げます。

本市議會議員川名房吉君には、永らく闘病生活を送られておりました。遂に去る六月二二日午後二時一五分逝去されました。ここに慎んで中報告申し上げます。このことにつつましく、議員団幹事長田中祿郎君より



発言を求めらるゝあります。

暫時これを許します。田中祿郎君。

(二二番議員田中祿郎君登壇)

・二二番(田中祿郎君) 館山市議會議員川名房吉君のや  
逝去の報を受けまゝ驚愕言葉に尽せません。

かえり見まするに氏は昭和十一年館山市消防団に入  
団、昭和二二年本部長、昭和二五年消防署司令、昭  
和三二年消防署司令退任と同時に消防団長、三  
五年千葉県消防協会幹事となり、県並びに館山市  
消防行政のためにそう半生をささげられたのであり  
ます。更に昭和三四年衆望をになつて館山市議会  
議員に当選、爾来、建設委員として市行政の進展と  
消防行政の高揚に深甚な努力と非凡な才能を振舞は  
れたことは、市民の記憶に新しいことでありました。私ども

等しく感謝いたしてゐるつもりであります。——かかるいふ  
いふ市政振興、その他消防庁舎建設と重要な問題が山  
積し、氏の力に待つべきものがあるところ、突如病魔の冒  
されるところとなり、逝去されたことは、予ことに痛惜  
に耐えません。ここに館山市議会を代表いたし、うや  
うやしく哀悼の意を表します。

議長（鳩貫壮作君）以上で田中議員による追悼の言葉を終  
りました。この際故川名房吉君の霊に慎んで黙禱を  
ささげたいと思います。予起立を願います。

黙禱始め

（全員起立黙禱）

議長（鳩貫壮作君）黙禱終り。今日の会議は本手元  
配付の日程表により行います。

これから市長の説明を求めます。

(市長田村利男君登壇)

・市長(田村利男君) 本日ここに昭和三七年六月定例市議会を招集いたしました。当面する議件の審議を願うことになりました。その前にかねて病氣療養中でありました市議會議員であり、市消防団長、民生委員、指導委員と各種の要取をかねて、川名房吉君が去る六月二日遂に永眠されたのでございます。

同氏は生前特に館山市の消防部内においての功績改め申し上げるまでもございません。今さらうごとく当市に取りまゝ、貴重な人材を失ったものと深く痛感いたしております。故人の遺体は、昨日茶毘に付されまゝ葬儀は、明後二七日、消防団葬をもつて執行することに決定いたしております。ここに故人生前の功績を思ひ、衷心より冥福をお祈り申し上げる

次オでございます。

そこで本日上程いたします議件はまず議案第二四号からであります。館山高等学校用地の買収につきましては、現在まで契約の段階にまで終着いたらない九反三畝七歩につきまして、その地主と売買契約を締結いたしまして、早急に買収しようというものでございます。

次に議案オニ五号は、市営住宅敷地畑が八反七畝十歩を買収しようというものでございます。

次に議案オニ六号は、土木工事用ダンプカー一台を百五十万円で購入しようというものでございます。

次に議案オニ七号は、原取処理場敷地造成工事の本年度実施分に關しまして、三百三十五万円をもつて、市営土木工業株式会社をもつて契約しようというものでございます。

次に議案オニ八号は、六月期末手当の特例を設けた条

例でございますのでよろしく審議願いたいと思います。

議案才二九号は消防団員等の公務災害補償条例の一部改正であります。政令の改正による補償基準の引上げ改正でございます。

次に議案才三十号は市税条例の一部改正でございます。地方税法の改正による必要改正でございます。

次に三一号は農業近代化資金助成法に基づきまして、利子補給を実施するために所要規定をいします。条例の制定でございます。

次に議案才三二号は、県下全市町村で共同経費設置しております軽自動車税の事務を行う取員の共同設置規約の一部改正であります。が合併により町が一つ減ったための自然発生的な所要改正でございます。

次に三三号は今般景の国保連合会になります。と云うこと

報酬の支払いを一手に引き受ける基金制度となり、またためにその基金を連合会に委託することになり、金三百四十九万円を預託しようというものでございます。

次に議案オ三四号は、本年度一般会計の追加更正予算であり、総額約一千八十万円の追加となります。

次に議案オ三五号は、本年度国保会計の追加予算であり、三三三号議案によります。預託金を主とする追加予算で総額三百九十三万円となります。

最後に議案オ三六号から三八号までは、市良海岸に設置される県の施設の鑑山ユース・ホステルの経営管理につき、県の委託に基づき、特別会計を設けるとともに所要規定を条例でもって制定しようというものでございます。

その特別会計の本年度約九ヶ月間の予算は、大体二百万

四程度予想されております。

以上をわめて簡単に申しあげました。なお詳細につきましては、それぞれ上程の都度関係課長からやり説明申し上げる次第でございます。また、お願ひ申し上げる次第でございます。

議長(鴻貫壮作君) 追々季節も炎暑の候となりますので、当分の間略衣について、会議を行うことにいたしました。と思ひます。これにや異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鴻貫壮作君)

や異議なしと認めます。よつて決しました。

日程第一報告才四号、才五号を上程いたします。

(書記朗読)

報告才四号 昭和三六年度館山市消防庁舎建設事業

二 負 担 部 門  
継続費繰越計算書報告

報告才五号

昭和三六年度館山市屎尿処理施設建設事業継続費繰越計算書報告

・ 総務課長(山口実君)報告才四号地方自治法施行令才一五一条才一項の規定により昭和三六年度館山市消防庁舎建設繰越計算書について予説明申し上げます。

消防庁舎の建設に当たりまして昭和三六年度の予算におきまして千五十万五千円の内工事費をお願いしたのでござい  
ます。そのうち昭和三六年度に支払った額でござい  
ます。又、庁舎建設工事に五百八十万、石本建設事務所設  
計事務に三十七万五千円、それから消防庁舎建築確認  
書に五万円、合計支出額が六百十八万圓、これを昭和三六年度  
の予算残額が四百三十二万五千円、これを昭和三六年度  
に繰り越しまして庁舎建設に使用して戴きたいと存じ



ます。以上でございます。

一七番(志村信彦君)報告オ五号ですが、衛生処理と  
いうことできめたから、屎尿処理は、よして衛生処  
理になつたらどうです。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)只今のお話でございますが、市独自  
の立場では衛生処理場という名称で条例も決定させ  
て戴いたわけでございますが、補助金その他相手の  
の名称が屎尿処理という名称でございますので一  
応予算上は、このような名称をつけさうと貰つて  
あるわけでございます。

・三五番(黒川佐太郎君)繰越しをせざるを得なかつた理  
由をお話になりませんか、それが大事な問題だ  
らうと思います。四百万を繰り越すといううのは何か支  
障があつたはずと思うのです。その点を教えて戴きたい。

・総務課長(山口実君)国庫補助金が年度半ばに決定いたしましたこと、それから入札、直ちに落札しなかつた。こういう二つの原因がまでござえます。

・三五番(黒川佐太郎君)もう少し親切にどの位補助を貰うつもりがどうだった、入札がどうだったという、もう少し立ち入った説明がほしい。

・総務課長(山口実君)三六年の単年度事業といえしまし、て千五百万程度の起債額を得る一挙に完成する予定でございます。たまたま起債の交渉中というよりも三六年度では国の方では熊本市に対しては、千五百万の要望額はどうもできない。一千万でもつて三六年度はかんべんしてくれということが当初計画のものだけ貰えなかつたのでござえます。

次に設計でござえますが、設計途上において要望書の関係で

ございます。最初こちうの持つておつた望楼は円筒型であつたのでございます。たまたまその望楼の姿が鈴木工務所という建設業者の設計するパテントに該当する。当然その設計に基いて工事を施行した場合には、裁判がたになる。裁判がたになると工事中止命令。こういうことで将来の問題を勘案いたしまして、どうせ先に問題が起こるなら更に設計をかえていめゆるパテントに当たらないで、単価の安い合理的な設計をする。こういうふうに非常に設計に長時間を要しないのでございます。こゝらが主なる原因でござい  
ます。従ひまして入れでございしますが、そういうた  
関係がございしますので入れの単価も非常に請負業  
者として出血の額にいめゆるもうけのないように見  
積りになつたのでございます。そういうことも業者

と再三、再四折衝いたしまして、契約を結んだらでござい  
ます。　　こういつた点かゝのびた操越しのやむを得な  
いことになつたのでございます。

・議長（鳩貫社依君）本報告についで他に発言がなければ  
次へ日替程に移ります。

日程才二報告才六号乃至才九号を一括上程いたします。  
（書記朗読）

報告才六号　昭和三七年四月例月検査報告、

報告才七号　昭和三七年五月例月検査報告

報告才八号　昭和三七年六月例月検査報告

報告才九号　監査報告（公益貨屋）

（監査委員 川上栄君 登壇）

・監査委員（川上栄君）報告才六号　去る四月一三日実施いた  
しまして三月の例月検査の結果を予報告申し上げます。

詳細につきましては、お手元の報告書通りでございますが、その大要を申し上げますと三月中の市税の収入は、二千三百三十三千円でありまして収入累計額は、一億六千六百九十九千円となりまして納期到来分の収入歩合は八八・五％でありまして、前年同期に比較しますと一・七％上昇しております。三月中の税外収入は、二千五百六十四万七千円でありましてその主なものは、国庫支出金が千百八十九万七千円、地方交付税が八百二十七万六千円その他となっております。

市税の収入未済額は二千百六十七万九千円納期の未到来が百三十四千円ありまして、差引きますと正味の滞納額は、二千三百七十五千円となりこのうちには、前年度の繰越しが九百十七万八千円含まれております。

支出面でございますが、五千二百三十八千円でありまして

支出の累計額は三億五千六百八十七万九千円となり、予算額の八二・六%を支出しております。

特別会計につきまゝは、省略させて載せます。

報告第七号去る五月十四日実施いたしました四月の例月検査は三六年度と三七年度の両年度を監査いたしました。まず三六年度分より、報告申し上げます。

四月中の市税の収入は二百九十八万三千円、収入累計額一億六千三百三十二万三千円となり、規定額に対し、収入歩合は八九・五%であります。四月中の税外収入は千八十八万四千円であり、その主なもの、国庫支出金が五百三十万八千円、競輪収入が二百五十万円、し尿処理施設建設国庫補助金が百五十万、その他となっております。

市税の収入未済が千八百五十九万五千円であります。

その主なものは、市民税が四百九十六万五千円、固定資産税が千百七十九万円、軽自動車税が四十八万、電気ガス税が七十一万七千円、都市計画税が五十九万三千円、その他、十五万とっております。

それから、市税の欠損処分でありますが、四十八万八千円ありまして、その主なものを申し上げますと、市民税が二〇四件、七万九千円、固定資産税が六二一件、三十四万八千円、都市計画税が二六四件で一万八千円、旧法による車税が一五四件、四万三千円となっております。

支出面は二千九百二十八万八千円でありまして、そのおもなものは、消防庁舎建設工事費六百十七万五千円、し尿処理施設工事費が八百万円、市営住宅の建設工事費が二百七十万円、国定公園事業負担金が二百万円、東小の講堂の増築工事費が百二十三万八千円等でありまして、支出の累計額

は三億八千五百九十万七千円でありまして、予算額の八  
七・三%を支出してあります。

以上をもちまして三六年度の説明を終わります。

三六年度分について申し上げます。

四月中の市税の収入は、千二百四十七万二千円。そのおもなものは、市民税法人税であります。二十三万四千円。固定資産税が八百六十万三千円、軽自動車税が百十一万三千円、た  
ばこ消費税が二百三十九千円、その他四十七万二千円。

税外収入三千五百二十七万五千円。そのおもなものは、地方  
交付税が二千八百三十六万三千円。三六年度の繰越金  
が四百万円。その他となっております。

市税の収入未済額九千四百五十五万円でありまして、  
納期未到来分が六千六百二十七万二千円あります。  
正味滞納額は、二千八百二十七万八千円となります。



支出面でありますが、二千六十七万八千円でありまして、予算額の四・三%を支出しております。

特別会計は省略させていただきます。

報告第八号六月一日実施いたしました五月例月検査の結果を申し上げます。

五月中の市税の収入は四百三十七万二千円、収入累計額は一億六千七百九十九万五千円となりまして、その収入歩合は九一・九%となります。

税外収入は二千三百四十九万一千円、そのうちものは、国庫支出金が三百九十四万九千円、県支出金が四百十五万六千円、市債が千三百三十万、その他、二百八万八千円、起債を申しますと、港湾水路費事業債、二百三十一万円、教育債が五百五十万、公営住宅建設債が二百万円、し尿処理建設債が三百五十万円となっております。

市税の収入未済額が千四百二十五万八千円。そのおもなものは市民税が二百八十四万二千円、固定資産税が千二十一万三千円、軽自動車税が四十四万九千円、都市計画税が五十八万三千円、電気がス税が十一万一千円。その他十五万円と成っております。

支出面は二千三百五十七万六千円であり、その支出の累計額は、四億九百四十八万三千円が予算額の九四・八%を支出してあります。

以上が三十三年度の分であり、より次に三十四年度の分を申し上げます。

五月中の市税の収入は二千八百六十六万二千円であり、より、そのおもなものは、市民税が三百三十万三千円、固定資産税が千七百三十万七千円、軽自動車税が二百三十六万四千円、たばこ消費税が二百三十八万三千円、電気が

ス税が二百四十二万四千円、その他八十二万三千円となつてあります。

収入累計額は、四千百十三万三千円でありまして納期の到来額について収入歩合は、七六・八%となつてあります。市税の収入未済額は、七千六百六十二万三千円、納期の到来分が六千九十六万一千円、正味の滞納額は、千五百六十六万一千円となつてあります。

税外収入は千五百二十四万七千円、その主なものは、競輪収入が二百四十万円、国庫支出金が八百七十一万七千円、前年度繰越金が四百万円、その他、十三万円となつてあります。支出面は、二千四百五十八万五千円、支出の累計額は、四千五百二十六万二千円となりまして、予算額の〇・九%を支出してあります。

特別会計につきましては、省略されて載ります。

報告第九号去る六月十一日実施いたしました公益債屋  
の昭和三六年度の本納その他の事務につきまゝ監査  
の結果を本報告申し上げます。詳細につきましては、

お手元の報告書の通りであります。その大要を申し  
上げますと、貸付金の状況をみまするに昭和三五年度は  
二百六十四万円でありまゝ、三六年度は二百二十四万円と  
なりまゝ、前年と比較しますと、一五・二%減額であります。  
次に流れ賃物の売却損も十七万三千円出てあり  
ます。次に流れ賃物の売却損も十七万三千円出てあり  
ます。売却損を最小限度に止めるようにお願いいたし  
ております。貸付金の計画がないために時々資金の  
不足を来し、市へ払込むべき弁済金を流用してあります  
が、これは収支の明確を欠きますので、急速に資金計  
画を立てられたいと思っております。次に運営面でござい

利用者の延人員は、七二六人でありまして、一日平均二、四人、貸付金は、二百二十四万円、一日平均約七千円であります。

こゝに従事する職員は、四人であつて、この状況を見ますに、商店休業の、状態であるのであります。こゝに対する収入は、四十三万円でありまして、維持管理費、人件費に於いて、百九十九円、その他維持費が五十五万七千円支出となっております。差引き百十三万円の欠損金を出ております。繰越し欠損三百六十八万円を含めまして、膨大な赤字になります。こうまゝでありますと、昭和三十七年度も多額の欠損金を出すおそれがありますので、この際当局は、適切なる処置を講じられ、赤字を最少限度に止めるように配慮をお願いいたします。以上で報告を終わります。

二九番(荻生田七郎君)当局にお伺いしたいのであります。只今、監査委員の報告に公益質屋の赤字の問題が追求

されてゐるのであります。この事業は本質的に社会性をもつてゐるのであるから、ある程度の出費というものはやむを得ないと思ひます。只今の段階におきまゝでは、更に赤字が累増すると、財政に及ぼす影響等を勘案いたしまして、できるだけ赤字を減すべく、或くという監査委員の報告は、もっともだと思ふのであります。さうした関連性におきまゝ、当局はいかにお考えにならうかと思ひますか、承りなさいと思ひます。

。厚生課長(伊藤幸太郎君) 只今の点であります。この対策につきましては、いろいろあるかと存じますが、とりあえず、私の方で考えております。オ一の肉類は、人員の配置の問題が考えられる。ないかということ。三七年度に入りまゝに、ときに配置転換にかかります。人件費の節約といひますが、さういふ面からまづ入つて参りたい。それによりまゝ。

更にその上に立つて今後、運営を考えた参りたい。かように考えております。

・二九番(萩生田七郎君)お説、ごもっともであります。人件費を極端に節約したために質屋を利用する市民階級に不便を与えないか。人件費のみで果して赤字が解消するか。これは疑問でありますけれども、もう一つは利便の点になります。するが、あまりに質に入れる物件を過大評価することによって、その人々考え方によつて或いは対象の人々立場によつて、そういうことが絶無だといひ得るか。どうか。そういう点も検討の余地があるのではないかと思ひますが、その点につきまゝ、一々答弁を願ひたい。

・厚生課長(伊藤幸太郎君)人員の配置の問題でございますが、只今四名公益質屋会計で従事してゐるわけでございます。こゝ報告にもございます通り、一日平均約二人程度の質入



いゝ状況でございますが、四名従事することが果して合理的な人員配置であるか、これは十分考えらるる問題でありますので、なほ富崎の質屋におきましては、現在鑑定人一人、それから、本庁から隔日程度の出張によりまして、収支決算等をやっておりますので私といたしましては、船形並びに富崎を一応鑑定人の配置をいたしまして本庁の方から隔日程度に見回りをいたしまして収支の關係を見ま参つたならば運送上、差しつかえないのではないかという見方も考えられますので、そういう点につきまして、よく關係者と協議いたしまして、人員の配置の問題を考慮して参りたい。こういうふうに考えっております。

それから賃入の等の問題でございますが、現在一世帯五千円というふうな一つのワケがございます。この点につきましてもいろいろ考えらるるでございますが、今の状況から、いたします



と一方もう少し五千円のパクを広げたらどうかという言葉もございます。しかしながら、単に広げることは、結構でございますけれどもあとの弁済の関係もありますので一がいにこのパクを広げるということも考えなければならぬ問題だと思えます。これらの点につきましても、研究中でございまして近く結論を出したい。このように考えまわります。

・二四番(飯田義男君)市長さんにお伺いしたいのですが、只今の公益貸屋の問題ですが、私は、この問題について、一ぱーは前から言っておいたのです。やはり、その赤字というものはなかなか解消できないのではないかと、そういう経済的、社会的な趨勢にあるのではないかと、こういうふうに考える。ただ問題は、あくまでも貸屋を地域社会の要望により保護して置くことが絶対に必要なものであるか、なおそれに要

する。いろいろな経費を地域社会に有意義に何らかの形で分配することの方が益があるのではないか。こういうことも合わせて考えるんですが、どうしても地域社会の人たちは、この公益質屋について存続してくれという圧倒的意見があるかどうか、なおその他方法がないものかどうか、その点について市長の御意見を承りたい。

・市長(田村利男君)公益質屋の問題につきましても、あくまでも社会的な必要に応じてできたものでございまして赤字であるからといって一がいにこれをやめろということを決するまでにはなかなか御意見がいろいろあります。或いは、館山か北条に各地から出て質屋に入らるる一つや場所に集中してはどうかという話をしてみよう人もあります。

それとも船形から出てくれば往復四十円か五十円かかる。富崎から出てくれば八十円位かかるのではないかと、質屋

に入っても汽車賃にかかつてしまふ。この問題につきま  
してもう少し研究いたしましう、考慮して行きたいと  
思います。声としてこれを廃止<sup>せよ</sup>と云ふという声はあり  
ます。

。二四番(飯田義男君)もちろん一部何人かの人達には残した  
方がいゝという声はあるでしょうけれども圧倒的の世論  
として地域社会の人たちが何か何でもこれは必要だと  
いう声があるのか、まあまあという状態であるか。

。市長(田村利男君)圧倒的に必要だという声は聞いておりません  
ただ、少しばかりの人々声としてどうも困つてゐるから、  
往復五十円かかるので館山の市役所の近所に集中しても  
實際貧乏人のためにはならないのだというごくめずかう  
声はありますが、何か何でも多勢の人が必要だ。この部落  
に残すのだという声は聞いておりませんがいずれにしましても

銚子あたりでも非常に困っている問題でありますので研究  
さして戴きたいと思ひます。

・二四番(飯田義男君)大体わかりました。そうまいたら市長  
さんはこの問題については、可及的すみやかに研究を進めて  
どういうふうにするかということにまいいく。こういうことで  
すね。

・市長(田村利男君)そうです。

・議長(嶋貫壮作君)他にや発言ないようですから次に移り  
ます。

日程才三陳情書

(書記朗読)

・五番(江田徳太郎君)只今の陳情書につきまゝ、紹介議員  
を代表いたしまして一言お願いいたします。

只今読上げました通りのことでございます。これは、館山

市と一々是非行なつて戴きたいということで、商店街々皆  
さんがある十一月当りからこの企てをいたしまし、この議  
会に提出の運びとなつた次でございます。これにつき  
ましては、那古船形から館山の航空隊附近まで一々  
新位の商店の連盟になつております。

ここにありますのは、館山商店連合協議会というものがあ  
り、この中に企画委員を作りまして再三、会合いたしまし、  
東京土浦等の視察をいたし、最後に近代的な照明度を  
もつ水銀灯がいいということを決するまでに至りまし、  
今までのネオン灯であります。どうもあれでは個人街灯  
になつてかんばしくない。これをもう一歩進めまして本市と一  
は県下になつた水銀灯をつけたいということが始まつた  
うでございまして、県内では船橋、柏、松戸、東京では品川、浅  
草等いろいろ検討し、ようやくまとまりました。螢火灯の場

合は、二万円かそこいらで二、三本になつております。この水銀灯は一本に三、四本、下に蛍光灯を一つつけてこれを常夜灯にして夜商店が暗くなつた場合に常夜灯の蛍光灯が明かるく道路をするというふうなことにしようという皆さんの検討の結果でございますが、予算の通り三万六千円という高額なものになります。また、これを検討いたしますと一日水銀灯を三時間位を限度にいたしましてあとは常夜灯に切りかえまして、自然点滅ということにいたします。維持、管理がなかなか容易でない。これも相当考慮しなければならぬということから本議会、並びに当局にお願いする問題であります。

甚だ説明は未熟であります。もうけれども一二この内容であります。観念からは是非これを實現させて戴くことを願ひたい。次でございします。

よろしく市検討戴きたいと思ひます。

・議長(鳩貫壮作君) 本陳情書を採択の上市長に送付することに市異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(鳩貫壮作君) 市異議なしと認めます。よろしく採択の上市長に送付いたします。

日程才四議案才二四号、二五号を上程いたします。

(書記朗読)

議案才二四号 館山高等学校用地の購入について。

議案才二五号 土地の買収について。

・教育長(工藤和平君) 議案才二四号の提案理由を申し上げます。館山高校に工業化を併設するため校地拡張

の必要上から、ここにあります六名の田を九反三畝七歩  
反当三十五万円、三百二十六万三千五百円で購入したいと

いうものでございます。

なお、この地図につきましては、斜線部分が購入  
—たい土地でございます。

・建設課長(新井重助君)議案才ニ五号について、説明申  
し上げます。

本件の土地は市営住宅建設のために購入するわけでござ  
います。三五年から三八年にかけて、望名に建  
設してございます。三十七年度に入りまして、職員学校が  
あそびにできることになりまして、学校の職員、宿舎に充  
つたいという強い要望がございまして、これを運輸省の  
方にも渡しするということになりまして、そう代替地を国面に  
ございまして、こちらからいまして、市営住宅、これが三  
五、三六年に建設したところでございます。それから、斜  
線のところ通路を作りまして、建設しようという考えで



ございます。この土地ハ反ヤ畝十歩を買入れまして、ここに  
五六戸の市営住宅を建設する予定でございます。

皆さん全員の快諾を得まして二百四十一万五千八百三十四  
をもちまして、本年度予定が空名が一三戸でございまして  
だが、ニマ戸建設することになりまして、この土地を  
三ヶ年間にわたります。市営住宅を建設して参りたい。  
このように考えております。

議長(鳩貫壮作君)議案オ二四号、オ二五号討論者昭原栄通  
り可決いたします。

ことにや異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壮作君)市営住宅なしと認めます。よって原案通り  
可決されました。

休憩いたします。

午前十一時三十分 休憩

午前十一時四二分 再開

議長（嶋貫壯作君）休憩前に引き続きまして、会議を開きます。  
日程第五議案オ二六号を上程いたします。

（書記朗読）

議案オ二六号 土木工事用ダンプカーの購入について

建設課長（新井重助君）議案オ二六号について、説明申し上げます。  
まず、只今建設課にございます自動車は三台ございまして、そのうち二台は三五年に購入して、戴きまゝに、残ります一台を買います。これは昭和二五年に買います。現在まで使っておりますが、使用に耐えなくなりまして、ダンプカーを一台購入しようというものでございます。

内容はそこにございます通りでございます。

二四番(飯田義男君)結構なことなんですが、ただ購入方法をどのような条件で購入されたか、参考にと伺いたいと思うので  
すが。

建設課長(新井重助君)購入でございますが、相当値引きの交渉もしてございしますが、定価はくずせない。値引きはできないうえ、現在の古い方を相当の金額で引き取りたいというこの交渉は、成り立ちましたので、市中の自動車屋に見積りして戴き、そこで、せいぜい二万円、値打ちしかないものを一万円で取る戴く。かような方法で購入は、百五十万円、このような方法にいたる次第でございます。

二四番(飯田義男君)支払い方法はどのような方法で支払うのですか。

建設課長(新井重助君)試運転をいたしまして、検査を受けまし

で充分使用できるようになりまして、受取りまして、納品と同時に全額現金で支払います。

・二四番（飯田義男君）めかりより、今こころとやか、言ってもしょうがないと思います。まー、館山市という立派な背景があるのですから、そう値切るといふこともどうかと思います。購入の場合、やはり専門で買つてなるところの会社、二、三の状態を調査して、参考にしてお買ひになるといふことが非常にいいと思います。その点、今後そういう注意、願えばもっと安く買えると思います。うー、一応、言申し上げます。

・二九番（萩生田七郎君）ちょっと伺いますか、めかりに七万とかで引き取るといふ車は、現在廃車になつておりますか。それとも使つておりますか。

・建設課長（新井重助君）これは現在修繕しながら使うとなると

いう状態でございます。

・二九番(兼主田七郎君)素人でありませんが、現に使っているものが二万円、百五十万出して買ったものが七万円で引き取ることにした。素人の常識ですが、過少評価のように思われるのですが、そういうものですか。

・建設課長(新井重助君)二五年に買いよって、十二年使ったおるうですから、……

・議長(嶋貫壮作君)議案才二六号討論者略原案通り可決いたします。ことにや異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(嶋貫壮作君)や異議なしと認めます。よって本案は、原案通り可決さへした。

日程才六議案才二七号を上程いたします。

(書記朗読)

議案オニ七号

館山市屎尿処理施設敷地造成工事請負

契約の締結について

・厚生課長(伊藤幸太郎君)ニ七号の説明を申し上げます。

これは、三十七年度分の敷地造成工事の請負でございますが、すでに三十三年度におきまして九十万円以内の工事を完了いたしました。三十七年度分といたしまして、ここにありますように三百三十五万円以内の契約をもちまして執行いたしましたということでございます。請負の関係でございますが、承知の通り、本工事の請負者である守住土木工業と随意契約によりましてこの工事を執行いたしましたということでございます。

なお、この工事の概要、それから金額の決定、これからつきまゝでは、市の建設課とも十分協議の上、決定いたしたもうでございます。ますのでよろしく承認願いたいと思います。

・二四番(飯田義男君) 工事は予定通りに行っておりますか。

・厚生課長(伊藤幸太郎君) 工事の進捗状況でございますが、三六年度  
の工事予定が金額に致しまして、本工事分六百万円、これはガス  
タンクとサンプの槽の工事でございますが、完了いたしました。あ  
ります。なお、今申し上げました付帯工事といえまして、整地  
造成もその部分の整地をやでございます。九十万の工事  
費をもちまして完了しております。おるわけでございます。

三七年度におきましても既に第一消化槽、その他工事も  
ほぼ進められていますので、工事量といえましては、一二分に  
工事は進捗しております。おるという状況でございます。

・議長(嶋貫社依君) 議案オ二七号、討論省略原案通り可決いた  
します。ことに付異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(嶋貫社依君) 付異議なしと認めます。よって原案通り可決さ  
れます。

休憩いたします。

午前 十一時五五分 休憩  
午後 一時五五分 再開

議長(鳩貫壯作君) 午後出席議員数 二七名。

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程オ七議案オ二八号を上程いたします。

(書記朗読)

議案オ二八号 昭和三七年六月に支給する期末手当の特例に関する条例の制定について。

秘書課長(山谷潤和君) 議案オ二八号について、説明申し上げます。本議案は、六月の期末手当の特例に関するものでございまして、条例でこの期末手当につきましては、



議員特別取。一般取員のうち決まっておるうでございしますが、市取員組合から一八市連協の方から出た要求が提出されまして、その率は二十割支給ということでありますが、市の財政をよく検討した結果、この程度のもを今回支給したいと思ひます。特例を出したわけでございます。なお、この比率につきましては、十八市とも本年は偶然といひます。大体似たような線で館山市より上回つてゐるが、天市に過ぎないでございまして、一般取員としましては、こゝから申し分ないというような線がまゝつたうでございす。よろしく御審議願ひます。

・二七番(鈴木市蔵君)臨時取員、それからゴミを集めてゐる人たちとか人夫、そういう方法は、どういうふうな方法を取つてございますか。

。秘書課長(山谷綱君)臨時取員につきまゝは、現在教育委員会の臨時取員を加えまゝ、六九名あるうでございます。こゝうち、共済組合に加入してあるもの、<sup>ニヤ</sup>井ノ名、教育委員会の一三名の内容は、省略いたしますが、市の五八名の中の二七名は、共済組合に加入してある、他の三名は、予定は、短期間採用とさういう考えで共済組合に加入していかつたうでございます。

共済組合に加入してあるものは、一年以上については、四日分を本日の賛金で増額でもつて支払いにくいというものでございます。一年未満六月以上のものは、二十日分、三月以上六月未満のものは、十八日分、一月以上三月未満のものは、十日分。

共済組合に入っていない臨時取員に対してまゝは、たまたま一年以上になつてあるものに三一日分、六月以上一年未

満二三日分、三月以上六月未満十五日分、三月以下一千円打切りこのように支給したいと思つてあります。

・二七番(鈴木市蔵君) どうしてこれを聞いたかというところ、臨時職員、或いは人夫、そういうものが一般の労働者に比べて安いのでせめて期末手当なんかで調和されていじいか。こういう点で復旧のためでございます。この点よく考えよう、ち配慮願います。

・議長(嶋貫壮作君) 議案才二八号討論省略原案通り可決することにち異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(嶋貫壮作君) ち異議なしと認めます。よつて本案は原案通り可決されました。

日程才八議案才二九号を上程いたします。

(書記朗読)

議案オ二九号

館山市消防団員等公務災害補償

条例の一部を改正する条例制定について

・総務課長(山口実君) 議案オ二九号について説明申し上げます。  
別表オ一号「イ」の欄でございます。この補償額は昭和三三年九月の条例改正によりまして、同の基準によりまして定めらるゝでございますが、今回国の法令改正によりまして新しい基準に改定されましたので、この法律の執行に付きまして昭和三十七年四月一日にさかきよりこれを施行しようというものでございます。こういった金は市町村で基金を設けておりまして、上から金額くることになっております。

・議長(鳩貫壮作君) 議案オ二九号討論省略、原案通り可決いたします。ことにやう異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(嶋貫社彦君)中興議なりと認めます。よつて原案通り可決せしめしむ。

日程才九議案才ニマ号を上程いたします。

(書記朗読)

議案才三十号

館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について。

・税務才一課長(高木哲三君)議案才三十号について中興説明申し上げます。二三条う二までございますが、外国法人に対する

支店出張所、営業所、工場、倉庫、こういうものがある場合、それを事務所、又は事業所とみなすということになつております。館山市内に一カ所シンガー・ミシンの営業所がこれに該当します。

才二四条でございしますが、これは、不具者を障害者に改め、才一五、十五万円を十八万円に改めるといふは、障害者、

未成年者、老年の非課税の範囲が三万円より三、  
三四条の次に一項を加える。これは、配当控除でございます。

昨年までは、所得税で配当控除を受けておりましたが、今年  
税法の改正によりまして、所得税を対象にいたしませんので、こ  
う項を設けなければなりません。

市民税は、百分の四の控除となっております。三八年から、  
百分の三になります。

才四八条、法人等の市民税の申告納付でございます。

その中でございますが、これは、外国に事務所又は、事業所  
を要する法人が外国に納めた税金がある場合は、地方税  
においてもその税額が範囲内で控除ができるという規定  
でございます。これも昨までは、所得税を対象にして

課税してありましたが、所得税の場合には、外国税控除  
制度がございまして、今度改正になります。地方税

に外国税額控除制度を設けたいわけでございます。

オ五十条の二項中とあるこの項でございますが、

これは法人等の市民税にかかゝる不足税額の納付手続き  
でございます。申告して相当期間たつから更正が行われ  
ますが、その更正が行われるまでに一年程度たつたござい  
ます。その税額の控除でございます。ここに特に更正という  
言葉がございしますが、今までは申告を出さない人は決定と  
いう言葉が使われますが、この場合は特に決定じゃなくて  
更正の場合でございます。決定の申告書を出さなくてあ  
とで決定された場合はその税額控除の特典がないことにな  
つて更正の場合にのみ延滞金の控除が認められる  
ことになります。

オ五六条でございますが、これは非課税の範囲が宗  
教法人、もしくは、社会福祉法人で幼稚園を設置した

もので学校法人がそれを寄宿舎の用に供し始めたところからいふが非課税ということになっております。

九二条、これはたばこ消費税の規定でございますが、今までには小売定価を基準にしておりまして、今度製造したばこ全国平均小売価格によりまして一本当りの単価を求めまして、それによつて課税基準を定めることになりまして、今年は二月六十銭一厘が一本当りの単価でございます。それによりまして市内のたばこは本売れたかによりまして課税されることになります。

九三条は、このたばこ消費税の百分の十一が百分の十二になったところでございます。

九四条は申告期日の変更でございます。

九五条は、電気がス税の課税免除でございますが、三百円以上は課税が免除されますので削除になりました。



九八条電氣ガス税が百分の十が百分の九に下つたうでございます。

九九条は地方税法の改正によりまゝ、四項が六項になり五六条が五五条にかつたうでございます。

一一五条でございしますが、これは、伐採した素材になつておりまゝだが、これをそこにありますように改めたもうでございます。以上でございます。

議長(鳩貫壮作君) 議案第三十号討論省略原案通り可決いたしますことにより異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壮作君) 此の異議なしと認めます。よつて本案は、原案通り可決されました。

日程材料 議案第三十一号を上程いたします。

(書記朗読)

議案才三一号

館山市農業近代化資金利子補給条

例の制定について。

・農産統計課長(吉田耕一君)議案才三一号について説明  
いたします。

農業近代化資金助成法並びに千葉県農業近代化資金等融通補助金等交付要綱に基きまして本市の農業経営の近代化を推進するためどうも必要な生産施設或いは施設を拡充するという場合に近代化資金を借りたものに対して、利子の補給をいたしまして農業の振興をはかりたい。このように考えまして本条例を制定しようというものでございます。

才一条はその目的を規定したものでございます。

二条がいわゆる農業近代化資金とはどんなものであるか或いはこの条例の中にございます融資機関とはどんなもの

あるかという点を定義で規定したわけですが、融資機関とは農業協同組合、或いは、農業協同組合連合会、農林中央金庫、こういうものが対象になるのだということです。

三条は、利子の補給を規定したわけですが、近代化資金の貸付を行う融資機関に対して、また近代化資金としての貸付けの資金に対して、また年四か五厘の範囲内におきまして利子補給を、というところでございます。

第四条は利子の打切り、或いは返還等を規定したわけですが、ございまして、才一項につきましては資金を借りたものの、才二項につきましては、貸した融資機関、この両者に対して、また、いわゆる最初の面について、目的以外に使用した場合、或いはまた融資機関に対して、また、こういう打切り停止、返還というものがあつたということを規定した

わけでございます。

五条は三条の規定に基きまして融資機関が利子補給補助金を受けたときは、その実績をすみやかに市長に報告しろということを規定したわけでございます。

六条は規則への委任でございます。細かい運営上の必要な事項につきましては、規則で別に定めるところにいたしたいと思います。以上でございます。

○一番(山本昇君) 今の説明大体でわかりました。二、三お尋ねいたします。

第一条に「必要な生産施設等の整備拡充」ということなんです。何か基準があるのか。予算の範囲内で利子の補給をする。こういったんですが、利子補給の限度というものがどの程度まで許さかかっているのか。それから先ほどの説明でいろいろな法律に基いてこういうものが作られた。かようなお話でございますが、附則の公

布の日から施行し、昭和三六年十二月一日から適用する。  
随分、玄くさか上つて適用することですが、こゝろたことはも  
つと早く作れないのか。今日、こゝろいうものを作つて十二月  
にさか上つてやるというのだが、どういふ関係か。この点も合  
めせてや説明願いたい。

○農産統計課長(吉田耕一君)お答え申し上げます。大体資金  
を借り受けます種類とか一つの限定を受けらるるわけだ  
ございまして、例えば農舎とか畜舎、或いは農産物の乾  
燥施設、温室、サイロ、堆肥舎、或いは排水施設、加工施設、  
貯蔵施設、その他いろいろ農機具の保管、修理施設、  
病虫害の防除施設、こゝろた基準に基きまして、利子の  
範囲がきめらるるわけだございまして、利子補給率と申し  
まして、国が出す補給額、或いは県が出します補給率、  
市町村が出すべし補給率、残りを末端の受益者が出す

べきものというふうに分けまゝ、大体基準金利九分五厘でございまゝ、そのうち、大体四分五厘を国、県、市町村が払しまゝ残り五分を受益者が負担していただくということにならるわけでございます。

それから、附則の施行、適用でございますが、この点につきましては、いろいろ国の法律はござつたわけでございますが、府県の公布要綱というふうなものがあるわけでございまして、現行まづりびたわけでございます。従いまゝ、国の施行が三六五年にござつてありまゝ、そのときから、実際に府県が公布要綱を張りますれば、それだけでございますが、府県の補給も合せて、市町村で考え、関係でございまゝ、遅れたわけでございます。十二月から一般の需要者につきましては、農協等を通じまゝ、申請があつたわけでございます。その分につきましては、

市長さん等の決裁につきまゝ、ミウーな条例が通過した  
場合には、十二月一日からのもつて適用さうな載きたいと  
いうふうなことで決裁を取つてあるふうな状態でございます。  
ますので、十二月一日から適用さうな載きたいと思ひます。  
予算の範囲内で利子補給するということでございます。  
が、そうしたいくつかの分類の補助率の違ひはあります。  
けれども平均四分五厘でございますが、最高の四分五厘  
ということをもつて予算の範囲内ということになります。  
でございます。

・二九番(萩生田七郎君)ちよつとお伺ひたい。これは、農村の経営  
の近代化と銘打つてありますから農地法の施行により  
農業構造等の改革、この神によつて、<sup>神</sup>館山市の場合に  
於いては、特に酪農、果樹、いちご、びわ等、果樹園の  
生産が急速に拡大されると予想されるのであります。

そこで、お伺いしたいのですが、こういう具体的な資金の利子補給条例が制定されただけじゃいけないと思うのです。こゝと平行して技術指導、具体的には、金融面まで斡旋する。こういうように具体的に推進して貰いたいのですが、この決意を承めたいと思います。

・農産統計課長(吉田耕一君)お答之申し上げます。

只今の御意見通り、私どもより以上にこの近代化資金の活用という面につきましても、一般の需要者の個々に当たりましても現在も指導してゐるわけでございます。

今後也十分効果を期します。近代化資金の利子を十分効果あつて行きたい。このように考えます。なお農業基本法に基づきます構造改善も並行して進め、行かなければならぬというふうに考えまゝ、私どもも予算という面を考えずに一応農家の経



堂の面に十分プラスになるような一つの計画を今後樹立して  
構造改善にまでもつていきたい。そうして予算の獲得に努力  
いたしたい。　　こうふうに考えるわけでございます。

・二四番(飯田義男君)初めてこの条例ができるんですが、ただ向  
題は利子を補給する前に果して金を借りられるかどうかとい  
う問題が農民にとつて一番大きな問題だろうと思  
います。従つてこの予算を組み立てけれどもそれが  
完全に消化できないということになれば幸いです。な  
お、これによる借入れ方法、或いは借入れの見通しですか。  
それから、市がそれに対してどのような指導・斡旋等  
をするか、こういったものについて御意見を承りたい  
と思います。

・農産統計課長(吉田耕一君)お答え申し上げます。借りの方  
法につきましては法的には、借りる方、借りる団体が融

資機関農協、或へは農協連合会、農林中金、こう一た面に申し込むわけでございます。　　一カーながら、さうした

手続き等の面で相当複雑になつておりますので、私ども係員が本当に手を取つて現在指導してゐるというふうな方法を取つてゐるわけでございます。　　なお農協等

である程度の審査をいたしまして、市の方に出すわけでございますが、さうした面につきましても農協ともども相談をいたしまして、この処理に當つてゐるわけでございます。　　なお今後の借りられるか、見通しでございます。

います。　　大体申請された正当なものに対しては、借りられるというふうに考えております。　　ただ、さうした面が無難な申請によつてそれを借りてやるということ、どうもでき得れば、融資の審査委員会と申しきますが、多少さうしたものを依りまして、そこで十分検討いたし

まゝで借りてやるというふうな方法を取って参りたい。  
このように考えているわけでございます。

國の資金等も十分あるということでも多く借り  
て有効に利用させるといふ指導でございますが、借り  
ることは、安心して借りられるといふふうに考えてあり  
ます。

・二四番(飯田義男君) そのようにお骨折り願いたいと思います。

只今までともするとこういう補助金制度はいろいろあるので  
すが、それが一般に行きわたらないうわゆる知らない人  
たちが非常に多いという状態が――ばあはあるのですか、これは  
どうようにしてPRし、処置を――いくか、それについて。

・農産統計課長(吉田耕一君) お答え申し上げます。PRの点で  
ございますが、これは広報・農協・或いは有線放送を通じま  
してPRに努めて参りたい。このように考えております。

議長(鳩貫壯作君) 議案才三一号 討論省略原案通り可決  
することゝ異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壯作君) 亦異議なしと認めます。よつて本案は  
原案通り可決されました。  
休憩いたします。

午後一時五七分

休憩

午後二時一七分

再開

議長(鳩貫壯作君) 休憩前に引き続きます。今會議を開きます。  
日程才二議案才三二号を上程いたします。

(書記朗読)

議案才三二号

千葉市外百市町村の軽自動車税の賦課徴

収に關する事務を行う職員、共同設置  
規約の一部を改正する規約の制定につ  
て

・助役(小出武男君)これは町村合併によりまして、一町村が減  
ったというために条例をなおすというだけのことでございます。  
・議長(嶋貫壮作君)議案才三三三号討論省略原案通り可決  
いたしますことに仰異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(嶋貫壮作君)仰異議なしと認めます。よって本案は原  
案通り可決をいたします。

日程才十二議案才三三三号を上程いたします。

(書記朗読)

議案才三三三号

千葉県国民健康保険診療報酬支払額預  
託金に預託について。

・保険課長(神張啓次郎君)議案オ三三号について説明申し上げて、  
 げます。今回千葉県国保連合会に診療報酬支払い積

預託金制度が設けられまして県下一二三保険者が県国  
 保連合会に支払い一本化をはかるために預託金をする  
 ことになりまして、当市といたしましても県に預託金  
 規定に基いて預託金を積み立てて診療報酬の支払  
 いの一本化をはかりたいので本案をお願いいたします。  
 ございます。

オ三条のものはこれは被保険者の義務的な金額でござ  
 います。

オ四条の規定は三条のほかにも県はできるだけ多く預託  
 をしていただく。こういうことで幸い三六年度分と  
 三百三十六万円あまり交付されまして、一応この額  
 を預託し、診療報酬の支払いに備えておきたいので

お願いいたす次第でございます。よろしくお願いいたします。

議長(鳩貫壮作君) 議案才三三号 討論省略原案通り可決いたしますことに決まりましたか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(鳩貫壮作君) 今異議なしと認めます。よって本案は原案通り可決されました。

日程才三 議案才三四号才三五号を一括上程いたします。

(書記朗読)

議案才三四号 昭和三七年度館山市歳入歳出追加更

正予算

議案才三五号 昭和三七年度館山市特別会計国民健

康保険歳入歳出追加予算

。総務課長(山口実君) 議案才三四号について説明申し上げます。

歳出から申し上げます。

才一款議会費でもつて三十七万五千七百円追加をお願いいたしました。これは只今議決をいたしましたが、期末手当の増による改正でございます。

次に市役所で二百十七万九千三百円、これも条例改正による増でございます。

八項倉庫費に四十万の追加をお願いいたしました。

この工事請負費は、自転車置場でございますが、当時自転車を対象として作ったものでございますが、その後、状況の変化によりまして、最近軽二輪が非常に多くなつた関係上、これを保管するために現在の倉庫の並びに四十万円程度予算をもちましてここに計上したものでございます。

次に消防費について申し上げます。



九十二万二千八百円をお願いいたしました。需用費に  
五十六万、今回国庫補助がございまして、それでそれを財源に  
いたしまして一応庁舎建設に考えていたことが、準備を  
ここで五十四万程度購入しようと考えております。

負担金補助及び交付金千葉県南部防災気象連絡会  
負担金でございすが、これは、富崎測候所を中心とした  
一まゝて天気予報を安房郡市各町村にわたす、いわ  
ゆる気象連絡協議会を張りまゝ一応本市から二万  
円程度負担いたします。総額十四、五万円の予算で  
もって防災気象を完全に通報しようと計画したもので  
ございします。

次に消防庁舎建設事業費でございします。

二四箇工事請負費三十二万追加をお願いいたします。

これは、庁舎を設計する途上、あの土地を掘りまゝ土

を東京に送りました。その調査ですと、あう土でーたら、市庁舎とはとにかくわりがない。その下に設計ーたうでございしますが、今回実際に掘り下げまーく調査いたしまーところ望楼のような立体的なものを作っていくには危険が考えられるということが出てきたうでございします。

その点でこの予算をお願いいたしまーく基礎工事を完全にしてやりたい。くい打ちを計画ーたうでございします。電話移転工事費十萬五千円、只今消防署にある電話を移転する予算でございします。こゝも設計の時

考えついたものでございします。それから財源は

備品費を更正いたしまーた。

・庶務課長(鶴沢貫寛君)教育費について説明申し上げます。教育費におきまーく百十六萬九千九百円の追加でございします。こゝうち教育委員会費の交際費に十萬円を計上いたし

まいりましたが、これは現在進行中の館山高校の土地購入に關  
します。海外費として十万円を交際費に計上いたしました。  
高等學校費の管理費の中の三節、補償金及び補まん金  
七万四千円、これは、国有地の離作補償料として当初予  
算に組んでありませんでした。これを施設費の方から  
更正して計上したもうでございます。

幼稚園費の取算手当のうち、退取手当一萬三千三百円。  
これは、北条幼稚園の教諭が今年三月三十一日をもって  
退取いたしましたための退取手当でございます。

その他の費用は、期末手当の増額分としてここに計上し  
たもうでございます。

・建設課長（新井重助君）次に市営住宅建設費、今回三百八十万  
五千円を追加お願いするのでございますが、その中で二四節の  
工事請負費二十万円当初一三万建てる予定でございます。

したが、割当の結果二十戸建つることになりまして、七戸増設する工事費が足りなくなりまして、二百万追加お願いする次第でございます。

なお、施設費百七万五千円これは、先ほど議決いたしましたが、八反又畝の土地を購入する費用でございます。

次の十戸用、補償金でございますが、これは、地上物件の補償金でございます。需用費の二十五万円は、工事設計に伴います基準額がございまして、事務費の三十%以内ということにきめられておりますので、設計費に基きます事務費の更正をいたしまして、

工事の安全をはかるために賃金といたしまして大工の現場監督を見回らしていきなにと考えまして、四万八千円、修繕料千九百円、保険料三千円は賃金に対する保険料でございます。以上、合計いたしまして三百八十八

五千円以上でございます。

・福祉事務所長（長谷川広治君）社会及び労働施設費について  
予説明申し上げます。

期末手当の関係は省略させていただきます。

保育所費は、備品費二十万円、これは、船形保育園の備品屋外の遊び道具八品で約二十万購入いたしました。が既定の予算がありまして、一応の支払い済んでおりますが、今回追加をいたしました。予算に繰入かた。こういう考えでございます。

国民年金事務取扱費と一々三二歳の負担金補助及び交付金五千円計上いたしました。これは国民年金事務の研究会在郡市一本でできておりますが、その負担金が今回賦課されて参ったわけでございます。そう不足額でございます。

・農産統計課長(吉田耕一君)産業経済費のうち農林費につきまゝ、予説明申し上げます。

先ほど議決いただきました条例に伴いますところの予算のうち願ひでございまゝ、利子補給補助交付金といたしまゝ、十七万円お願ひしようというものでございます。大体対象見込額を三千万円余を見込んでおるわけでございます。十七万円を一応お願ひいたしたい。こゝのように考えるわけでございます。

果樹植栽の利子補給交付金でございますが、大体今後見込めます三百万程度の半年か、年二分の利子補給といたしまゝ、三万円程度お願ひいたしたい。合せてまゝ、二十万円の負担金補助及び交付金でお願ひしようというものでございます。以上でございます。

・商工水産課長(羽山房雄君)観光費について、予説明申し上げ

げます。今回六十六万千七百五十円の追加をお願いいた  
—ました。そのうち賃金で三万七千五百五十円、これは主と  
して海岸清掃人夫と監視人の賃金で当初予算にお  
きましては、昨年並の一人当二百五十円から三百円の  
単価で計上—たうでございしますが、本年に入りましてどう  
—してもそれだけで雇上げが困難になつて参りましたので  
それを増額いたしたわけでございます。

なお印刷製本費十四万一千円、これはパンフレット印刷を  
当初予算におきまして大体一部当り十五円程度のもの  
を計画いたしまして、三十万の予算の議決をいたしまして  
まいりましたが、その後周辺の町村で出てまいりますパンフレ  
—ット等を見ましてどうしてもそれと匹敵するようになりま  
—す。そういういたしましたところ、一部二十一円程度の単  
価になりましてどうしても二万枚作るにはこれでは不



足をきたす。そうほか民謡パンフレット等も若干印刷したいというので計上したわけでございます。

次に二五節の備品費で一万円、これも当初予算に備品費として二万円計上したときに含んでございまして、那古海岸の監視船のエンジンを中古の二馬力のエンジンを一万円で購入する予定でありまして、一万円不足いたしましたのでここに計上いたしました。

三二節の負担金補助及び交付金におきまして、四十八万円をお願いするわけでございますが、そのうち千葉県観光協会が本年度物産と観光の宣伝用のパンフレットを作製いたしますについて各市町村の負担を割当を受けまして、そのうち三万円が当市の負担分であることを計上いたしました。

次に那古海岸無料休憩所建設負担金四十万円、こ



れは、国定公園事業といいたしましう千葉県がコンクリート建の間に二割半、奥行三割半、大体四三坪のものを百二十万円の工事費をもちまして建設することになりまして、その地元負担としまして三分の一、四十万をここに計上したわけでございます。

次に南房州線パンフレット印刷費負担金、これは、鋸山市、白浜町、千倉町、三市町が国鉄自動車営業所、関東自動車営業事務所、こう五社と共同印刷をいたしまして出しますパンフレット負担分でございます。

なお、ただ今申し上げました歳出に関係があります業者による負担、或いは、地元負担を歳入に寄付金といひまして計上いたしております。

・農産統計課長(吉田耕一君)統計調査費について説明申し上げます。

今回五万七千余円をお願いいたしますもうでございます。

それは、国の委託事務といたしまして商業統計調査、就業構造基本調査、この二つの調査を現在、実施しているわけでございます。これに対しますところ、商業統計調査員三四人の報酬、就業調査員八人分の報酬といたしまして、五万七千余円をお願いしようというもうでございます。選挙書記長（大嶋重義君）選挙費につきまして説明申し上げます。選挙管理委員会費は、期末手当でございますので省略いたします。

参議院の選挙費につきまして、今回十八万六千円余を追加いたしました。この内訳は、諸手当六万円、ベースアップに伴う投票、南票事務従事者の超過勤務手当の増額分でございます。

需用費で十二万六千円をお願いいたします。

これは主として選挙啓発のために必要な経費を付記帳の通り計上いたした次第でございます。

これらの経費につきまして、金額面からの委託費でございますので、了承願います。

・税務第一課長(高木哲三君)諸支出金の中、二項徴税費について、説明申し上げます。

市税調査費で五万円をお願いいたしました。これは、三九年に固定資産税の評価がえかございますので、その準備のために市内の一万分の一の地図、豊房を抜きまいた二千四百分の一の地図、豊房は六百分の一の地図を使用いたします。その印刷紙代でございます。税務第二課長(多田俊一君)徴税費のうち、四目奨励啓発費について申し上げます。

報償費といたしまして八万七千二百円、これは、納税組

合に対する完納奨励金でございます。只今まで大分納税組合が増加いたしました。当初の見込みより相当ふえておりますので、それに対する報償金の追加分でございます。

・企画室長（谷貝茂生君）新市町村建設事務費、企画調査費につきまして五十万の追加をお願いいたします。

本年度水源の調査をするために当初予算で議決いたしました。また、調査を実施すべくいろいろ準備を進めたのであります。私たちも素人でありまして、

県なり、中央官庁、専門機関等の意見を聞いて調査の内容を検討を進めて参ります。ところで、市内において調査場所を、二カ所に限定せずに水源と、いろいろと予想せられる全地域にまたがりまして調査の対象として総合的な立場で検討することが最も経

済的にもまた効果的であるという結論を得ましたので  
このために水源として一応考えたりしますのは、平久里川  
水域と長尾川水域、ともえ川水域、洲の宮地域の放水路  
潮入りの水域を主としたしまして、なお適当な地形で得  
られるならばということで広範囲に総合的な立場で調  
査をしたいということで検討したものでございます。

貯水による調査は一ヶ所に指定してその貯水量を調  
べていただくだけでも年間の降雨量、地質等によりま  
して非常にその基礎調査が骨が折れるそうござい  
ます。どうも水量が得られるかということも調査機関の  
信用にもかかるということでどうも調査の内容につ  
きましては、手を抜くことができないので経費も当初  
予算でいたたきましては少く不足を来すという  
ことになりまして、なすで一応五十万の追加をお願いいたし

きいた。

・総務課長(山口実君)追加合計千八百二十四万円、歳出合計  
四億九千三百九十万八千二百二十四円。

次に歳入に移ります。

六款使用料及び手数料について申し上げます。

一節、保育所利用料でございますが、公的の保育所  
が増設になった関係で園児がふえたのでここに二十万五  
千円手数料を計上いたしました。

次に七款国庫支出金について申し上げます。

オ一節消防施設費、補助金でございますが、本年度消  
防車一台が国庫補助の対象となりまして決定いたし  
まいたのでその対象額のうち三分の一の補助率をかけた  
五十四万をここに計上いたしました。

次に公営住宅建設費補助でございます。これは、只今

計画しておりました公営住宅に更に計画変更によります増に対する三分の二の補助率をかけたものでございまして百九十八万五千円計上いたしました。

次に三項国庫委託金でございます。一節統計調査委託金五万七千三百七十円附記にある通りでございます。

選挙委託金十八万六千七百八十円、参議院の選挙関係の委託金でございます。

次に八款県支出金でございますが、只今歳出で説明がありまして近代化資金利子補給金、そう下は果樹栽培利子補給の補助金でございます。

次に寄付金二十六万四千円、これも歳出で説明のありまして観光費関係の各々の寄付金でございます。

次に繰越金でございますが、今回七百五十四万八千二百四十円追加をお願いいたしまして、

歳入追加額千八十二万四千四百円、歳入合計四億九千三百九十万八千二百円、歳入歳出差別残金でございます。

・保険課長(神谷啓次郎君)三五号議案について、説明申し上げます。

事業勘定の歳出から、説明申し上げます。

先ほど三三号議案で承認いたしまして、預託金でございしますが、三百四十九万でございます。合計七千八百四十二万五千七百円でございます。これは、事業勘定と両方合せて額でございます。

歳入才三款財産収入でございますが、これも先ほど議決いたした三三号に關係のある預託金の利子でございます。それから三百三十七万二千三百円の前年度



の繰越し分でございます。以上追加額三百四十九万  
合計七千八百四十二万五千七百円でございます。

次に直診の方の申請説明を申し上げます。

歳出一款の施設費四十四万三百円追加お願い  
いたします。

二五節の備品費でございますが、最近豊房診療所の  
利用者が多くなり特に往診が非常に多くなりま  
す。そのため先生からの要望がございます。往診用の  
乗用車を一台購入したいということで三十九万五千円  
計上いたしたわけでございます。この自動車は名称  
はマツダ、ギャロデラックスというものでござい  
ます。

十一節の消耗品、十二節、三三節、自動車に  
関係するところがございます。附託により  
やりました。また、たいと思っております。

二項、修繕費二三節、修繕料一万五千円、これは、診療所へ車を入れる車庫と診療所へ屋根が幾分かこわれ、ちりますので、これらの修繕に充てるために一万五千円計上したわけでございます。

歳入でございますが、こゝらは財源といひまゝ、前年度の繰越し金を充当したい。かように考えまゝここに計上したわけでございます。

以上、合計事業勘定直診八千四百二十五万三千円でございます。

・三四番(松本藤太郎君)市長さん、お助役さんにも伺いたいのですが、今度千八十万あまりの追加更正なんですか、まだ当初予算から二月一かたつていない。さうやく三月目というふうなところでこういうふうになく、追加更正ということですが、その中で期末手

当、或いは、退取手当というふうなものもあるが、  
すが、大体四百万ちよつと位ーかない。パーセン  
テージにするに三七%位ーかやむを得ない更正と  
いうものはない。あと残りの六三%というものがい  
ろいろな当初予算に当然のつづきべき内容のもの  
では、ないかと思ひゆる<sup>点</sup>が非常に多いのですが  
こういう点について何か予算上<sup>編成</sup>欠けてゐるものがあり  
はーないか、こういうふうな懸念もするものですか  
さういふ点をお聞かせ願ひたい。

。助役(小出武男君)当初予算を編成するときには予想に  
されるものと申ししまゝでも実はあの時の編成と  
相当食ひ違つてきたのは繰越金でございまして、今  
回計上いたしました点は、主たるものは、期末手当で  
ございまして、これも実は、編成当時には繰越

金の算定が甘かったと申しますか、くるいまでその時にも今年は条例以外には出せないじゃないか。こういうことで秘書課の要求もけりまして条例通り編成したうでございます。いつもでーたらもう少し、超勤とかこういうものの額を加えましてゆとりをとって盛ったうでございますか、今申しますように繰越金が予定以上にありまして、こういう結果が出たのですが、そう当時はこれだけ予想してませんでしたので非常に窮屈な予定で予算を編成したというに過ぎないのでございますか、今回提出して来たもうは、ここに見ますとその後新規にできまして、いわば、予想のつかないものがたくさんございます。幸いにと申しますが、見込みが甘かったということではございますが、歳入にないで

非常に繰越金がオーバーマゝくれたということの結果  
こういうことにやつたものでございませう。こういう間  
繰越かと思ひ過ごしそういうものは、全然ございませぬ  
・三四番(松本藤太郎君)繰越金といひますけれどもそうでは  
なく私は何か予算作製上ずさんな点がありはしなかつ  
たか。繰越があつたからといつてもこんなになくさん  
でマゝくろと思へない。教育委員会や交際費が十  
万円増額してゐる。公営住宅もそうだ。それから  
市税に対する見込みといひますか。そういうものも  
やはり大きくなるいがあるかと思ふ。新しい税法に  
まつたの見込みというものを算出したけれどもか  
わらないといつておつた。こういう点に根本的に予  
算編成のときに何か欠けた点がありはしなかつ  
たか。こういうふうに思ふ。助役さんの答弁だと

繰越金云々といひますけれども、そういうことになく、もっと源にさか上つて研究して本当の実態をつかんで、そうして予算というものを依つて貰ひなぐては困る。もう少し、的確なものでやつて貰ひなぐとは、こういうものは、追加でもつて出でくるであろうということを知らして貰ひたい。結局最初の見通しが甘かった。こういうふうになるわけですね。今後そういうことのないようにな願ひたい。十八番(安西政治君)水資源調査費ですが、今までの中説明では、鑑山の総合的な調査をしたいというふうな説明であつた。総合的な計画或いは、調査結構だと思つたのでございします。

しかし水そのものがなくて困つてゐるといふ現実がたくさんあるはずでございします。例えば、飲料

水に困つてゐる。或いは、今後南発さかる国民休暇村というものも水問題と取り組まなければならぬというであります。こういう具体的な目への必要なものに対する考え方は、どうかあるかということをお伺いしたいと思います。

。企画室長(谷貝茂生君) 只今の中賃向でございませうが、事実今までも工場進出に対する水問題が悩みうところで進出をはばましたという点もございます。最近に於てお話のようによース・ホステル、休暇村の問題とか飲料水について各所において予想さるうは、当然でございませうが、そういういろいろな各地における水不足というものも今後十分参考えて行かなければならぬという考えからこの量が

どう位取れるかということをつかんだ上で考え  
て行きたい。こういうふうに考えておきます。

一八番(安西政治君)戦争中、食糧が乏しければ統  
制を以て皆が永く生きる道を考えた。こう  
いった水資源の問題に對しましてもそれと  
はやや違つておりますが、目の前に必要である。  
もしそう水がなければ非常に困る。かつて水が  
なかったときは、消防車を出動させて水を市  
営住宅に運んだ。ここに余分な非常に大きな  
経費と苦しみがあるわけでございます。  
目的がはっきりしているものにつきましても、相  
当勘案して、こういうことはすべきでないか。  
と私は思つておるのですが、そうして急ぐことに



ついても、急ぐようにお考えはできないか。もう一ぺん  
考えを練りたいと存じます。

・企画室長(谷貝茂生君)企画室の立場といたしまして  
は、市の総合開発という面から、市の振興策という  
ものを強く打ち出さずに行かなければならぬという  
ところに迫らねばなりませんので、あくまでも市の  
振興策というものを第一義に考えて行かなければ  
ならぬという<sup>ことでは</sup>、~~ことでは~~料水の向題とか地域的な  
ものは、事業課でやっつけていくといふしまゝ  
総合的な考え方で調査を進めて行かなければ  
ならないということでございます。

・一八番(安西政治君)企画室の立場といたしましてあり方とい  
うことは、わかりませんが、市長さんにお伺いしたい  
のですが、目の前にこうやって水が大量に必要で

あるというふうな問題がいくつかあるはずでござ  
います。こういうった問題につきまゝ市長  
さんとして何か具体的にやらなければいけない  
というふうなお考えがありますかどうか。お同  
いだと思います。

・市長(田村利男君)国民休暇村だけにばつて申し上げ  
ますと、厚生省におきまゝでもあそこに参ります  
とまず一番困るのは水だろうということですが、水  
を波左間水道から分けてもらう方法でいかか、或  
いは分けてくれば見物独自の水道を作ら  
なければならぬだろうという見解に立ちまゝ  
国民休暇村と並行してそういう問題も厚生省と熊山  
市と研究していくことになっております。

・一八番(安西政治君)大体わかりました。総合的な研究常

に結構でございます。局部的に目う前に急ぐ問題  
については、本担当課などにまつて研究し、やつて貰  
う、そういう企画室長の言葉があります。また、  
市長さんの言葉は、それを裏付ける言葉と一  
つ解いたします。

・議長(鳩貫社依君) 議案才三四号、才三五号討論  
省略原案通り可決いたしますことに仰異議  
ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

・議長(鳩貫社依君) 仰異議なしと認めます。

まつて両案は、原案通り可決されました。

本日の会議は、これにて散会いたしますが、次会  
は明二六日午前十時開会といたします。

その議事は、議案才三六号、三七号、三八号とい

たします。

散会いたします。

午後 三時一二分 散会

本日の会議に付いた事件

一 開会

一 議長報告(出席説明諸)

一 会期決定

一 会議録署名議員指名

一 追悼演説(川名房吉市議)

一 市長議案提案説明

一 報告第四号ないし第九号

一 陳情書

一、議案第二四号乃至第三五号

出席議員

|      |      |       |      |       |      |       |       |       |       |      |
|------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 飯田義男 | 田中祿郎 | 北山茂雄  | 安西政治 | 遠山日守子 | 法木桐郎 | 鳩貫壯作  | 吉田勇治郎 | 江田徳太郎 | 三沢 節  | 山本 昇 |
| 脇田順一 | 吉田辰雄 | 後藤 伸之 | 田中忠藏 | 志村信作  | 鳩田 繁 | 安 沢徳順 | 佐野 信  | 鈴木彦太郎 | 小林寅之助 | 石井 孝 |

岩崎靜敬

鈴木市藏

加藤良太郎

萩生田七郎

長谷川光江

鈴木孝

山口幸三

松本藤太郎

黒川佐太郎

山口康

欠席議員

田村喜久工

